

森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク

(正式名称：森と自然を活用した保育・幼児教育推進自治体ネットワーク)

2018 年度総会並びに設立記念シンポジウム開催報告

日 時：2018 年 10 月 22 日（月）13：30～14：00（総会）

14：30～17：45（設立記念シンポジウム）

会 場：東京大学安田講堂（東京都文京区本郷7-3-1）

主 催：森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク

（正式名称:森と自然を活用した保育・幼児教育推進自治体ネットワーク）

共 催：公益社団法人 国土緑化推進機構

後 援：東京大学大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター

2018 年度総会

参加者：ネットワークに参加表明した自治体 29（55 人）

参加表明自治体以外の自治体 10（13 人）

計 39 自治体（68 名）

発起人代表の阿部守一長野県知事の挨拶に続き、事務局より 10 月 22 日時点での 110 参加自治体を一覧資料にてご紹介し、また 4 月 17 日に設立宣言した際の設立趣旨を読み上げました。

その後、阿部長野県知事の議事進行により、第 1 号議案 規約（案）、第 2 号議案 役員（案）、第 3 号議案 2018 年度事業計画（案）、第 4 号議案 共同宣言（案）について、事務局より要点を説明し審議を行いました。

各議案について参加自治体からの疑義等はなく、当日参加された自治体全てのご賛同をいただき、いずれの議案も承認されました。

最後に、承認された共同宣言文を、登壇した参加自治体代表者が共に読み上げて高らかに宣言が行われ、互いに固く握手した様子が記念撮影されました。

（総会で承認された内容の詳細は別紙資料をご参照ください。）

設立記念シンポジウム

参加者：総会から参加している自治体関係者とシンポジウムからの一般来場者 計 270 名余

ミス日本みどりの女神 2018 竹川智世さんの総合司会で開会し、平井伸治鳥取県知事と湯崎英彦広島県知事（ビデオ出演）の発起人挨拶に続いて、共催者である公益社団法人国土緑化推進機構の沖修司専務理事、来賓として日本自然保育学会の上原貴夫会長と NPO 法人森のようちえん全国ネットワーク連盟の藁谷久雄事務局長よりご挨拶をいただきました。

次に森と自然を活用した先進的な取り組み事例として、「鳥取県における自然保育」を平井鳥取県知事、「信州やまほいく認定制度」を阿部長野野知事、「ひろしま自然保育認証制度」を田邊広島県副知事、「滋賀県東近江市の里山保育」を丸橋裕一主幹、「奈良県吉野町の木育」を北岡篤吉野町長よりそれぞれご発表いただきました。

そして、大いに盛り上がった尾木直樹氏（尾木ママ）の基調講演「日本の教育の未来 ～森と自然の中での育ちと学び～」の熱気冷めやらぬままに、鈴木みゆき氏（独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事長）による「新たな幼稚園教育要領・保育所保育指針等から見る幼児期の自然体験活動の促進について」、秋田喜代美氏（東京大学大学院教育学研究科 教授、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター長）による「保育・幼児教育の質を高める園庭づくりについて ～園庭の充実と地域資源活用のススメ～」、沖 修司氏（公益社団法人国土緑化推進機構 専務理事）による「森と自然を活用した保育・幼児教育を巡る自治体の取組の新たな潮流」と、いずれも自治体の施策等に大変参考になる研究活動をご紹介します。

最後は 4 人の講師の先生方にご登壇いただいてのパネルディスカッションで、「森と自然の育ちと学び」について幅広い見地から語っていただき、限りある時間の中でも大変内容の濃い設立記念シンポジウムとなりました。

（シンポジウムのプログラムと講師プロフィール、当日の発表者資料等は次の WEB ページよりダウンロードできます。） <https://www.facebook.com/moritoshizen/posts/747516665607955>

当日の取材メディア

CBC テレビ、信濃毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、時事通信、内外教育、中国新聞、自治日報、日本教育新聞、AERA with Kids、遊育、グリーン・パワー（森林文化協会）ほか

森と自然の育ちと学び自治体ネットワークに関するお問い合わせ

（事務局）長野県県民文化部次世代サポート課（担当：竹内、西澤）

電話：026-235-7207（直通） E-mail:jisedai@pref.nagano.lg.jp